

## まつど未来づくり会議 会議録

分科会名：生活環境分科会

開催日時：平成21年8月7日（金）16時10分～19時

開催場所：松戸市議会棟 3階 特別委員会室

出席委員：草皆 はつ代、郡司 吉松、坂本 学、高村 裕、土田 茂通、  
中川 文子、平賀 義男、三嶋 秀恒、渡邊 滋子、戸張 武彦、  
布施 優、遠藤 高幸（敬称略）

事務局：錦戸 茂尚（政策調整課）

### 【分科会長、副会長の互選】

分科会長 平賀義男委員

副会長 坂本学委員

### 【生活環境分科会の今後のスケジュール】

第2回 平成21年 8月24日（月）13：00～16：00

第3回 平成21年 9月24日（木）15：00～18：00

第4回 平成21年10月14日（水）13：00～16：00

### 【テーマについての想い・課題意識の共有】

- ・地球温暖化は着実に進んでいる。外来の現象なので、対応策としては、予想しながら進めるしかない。  
総合計画の第4節は修正する必要がある。京都議定書締結以前のものであり、地球温暖化について十分認識されていなかった。  
松戸市減CO2大作戦はスピードアップする必要がある。
- ・誰もが共通認識したまちづくり。  
地域で支えあう。  
さらに安心して暮らせる。  
快適で安全なまちづくり。
- ・安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域性、格差について考えるべき  
災害時の細かいハザードマップを市民に知らせるべき。
- ・災害時、江戸川河川敷はどこまで安全か、市民に知らされているか。避難場所までたどり着けるか。災害に対する不安を減らすべき。  
犯罪被害について、関係団体は1つの縄張りから越えることがない。こども110番に実際に駆け込んだ例があるのかよくわからない。市役所

- には警察からの出向者もいる。市役所が間に入り、身近な資料を提供して欲しい。
- ・災害時に救急車や消防車が通ることを考えると、全体的に松戸の道路が狭い。  
避難場所の安全性、江戸川の河原は、津波のとき安全なのか等を調べて、避難場所を設定して欲しい。
  - ・松戸市にも超高齢化時代が来る。そのためのまちづくり、高齢の方が気軽に商店街に来られるように、ゆとりの空間、ベンチなどがあると良い。  
バリアフリー化されたまちにする必要がある。
  - ・緑と環境の保全。  
子どもたちの安全、犯罪防止のため、行政にもっと力を入れて欲しい。  
安全な暮らしのできるまちにしたい。
  - ・治安、防犯の強化のため、空いている土地に、ソーラーパネルを設置するなど、何かの形で使えないか。補助金を使って設置すれば、財政面でも貢献できるのではないか。  
樹木を新しく植えるよりも、未来のことを考えると、市役所の外壁全面をソーラーパネルにして、照明はそれでまかなうなど、まず役所で率先してやって欲しい。  
市民へのアピールになり、普及すると思う。  
横浜市では、電気自動車の購入者に補助金を出している。国、県、市の補助金を合わせると、実質的に200万円台で買うことができる。  
警察との連携など、市民ではできないことを市役所をお願いしたい。
  - ・緑花清流のまちづくりは、実現に向けて動き出しているのか。  
自然環境を守るには、仲間が必要。  
安全安心のまちづくりのため、ポイ捨てを禁止し、迷惑行為をやめる。  
子どもを守る防犯対策として、市民パトロールを強化する必要がある。  
大地震対策として、阪神・淡路大地震のような地震が急に来たときの対策やマニュアルはあるのか。準備ができていないのではないか。
  - ・環境対策として、省エネからつくるまちづくり。  
自転車を通る道路の整備。  
震災時、被害の少ないまちにする必要がある。  
救急救命の面で地域差がないようにする必要がある。  
AEDの配置を進め、市民と一緒に対策に取り組む必要がある。
  - ・地球温暖化における緩和と賢い適応が大切である。  
安全面では、防犯と防災に取り組む必要がある。
  - ・空き巣被害を減らすためにも、地域での声かけが大切。

安心して子どもが外で遊べるまちにしたい。  
電気自動車やハイブリッド車が、安価に購入できる制度が必要。

#### 【感想】

- ・子どもたちの安全を確保すれば、大人たちにとっても安全なまちになるのではないか。
- ・私も高齢者になった。世の中で高齢者に対する思いやりが少ない気がする。高齢者の安全も入れるべきである。
- ・CO2を減らすために、具体的にどうしたらよいか。
- ・横浜市のようにテレビに出るインパクトのあることをすれば注目される。人口も増えるかもしれない。そういうことをやるべき。メディアを通じて良さをアピールした方が良い。

#### 【分科会内での感想共有】

- ・CO2の話をこの分科会の中だけでも教えて欲しい。
- ・市民センター等でやっているが、なかなか人が集まらないのが悩み。
- ・子どもの話はよく出るが、高齢者の話がなかなか出ない。
- ・次にまた会えるのを楽しみにしています。
- ・この分科会はテーマがたくさんあり、幅広い。
- ・政策ごとに、ポストイットが偏って貼られているが、重要さに変わりはない。
- ・高齢者の視点が足りないのは、たしかにそうであり、ドキッとした。気付きがあった。

以上